
2017年7月期 第2四半期決算説明会

包装システムの課題解決型メーカー

ゼネラルパッカー株式会社



証券コード: 6267

目次

- I. セグメントと事業環境
- II. 2017年7月期第2四半期決算概況
- III. 2017年7月期通期業績見通し
- IV. 中期経営計画ならびに
経営戦略の主な取組み状況
- V. 参考資料

セグメント別事業概要

2016年9月1日付で、オサ機械を完全子会社化したことから、2017年7月期第1四半期より、単体決算から連結決算に移行。同時に単一セグメントから、2つのセグメントに変更。

包装機械

主要品目

包装機から包装システムまで

・袋詰用包装機

給袋自動包装機
(ガス充填自動包装機含む)



製袋自動包装機



・包装関連機器等

ゼネラルパッカー

蘇州日技通用包装機械(中国)

2016/3月設立

↑ ロボット応用システムの仕入

その他関係会社;ワイ・イー・データ(安川電機子会社)

生産機械

主要品目

機器からプラントまで

・製菓機械

チョコレート製造機械



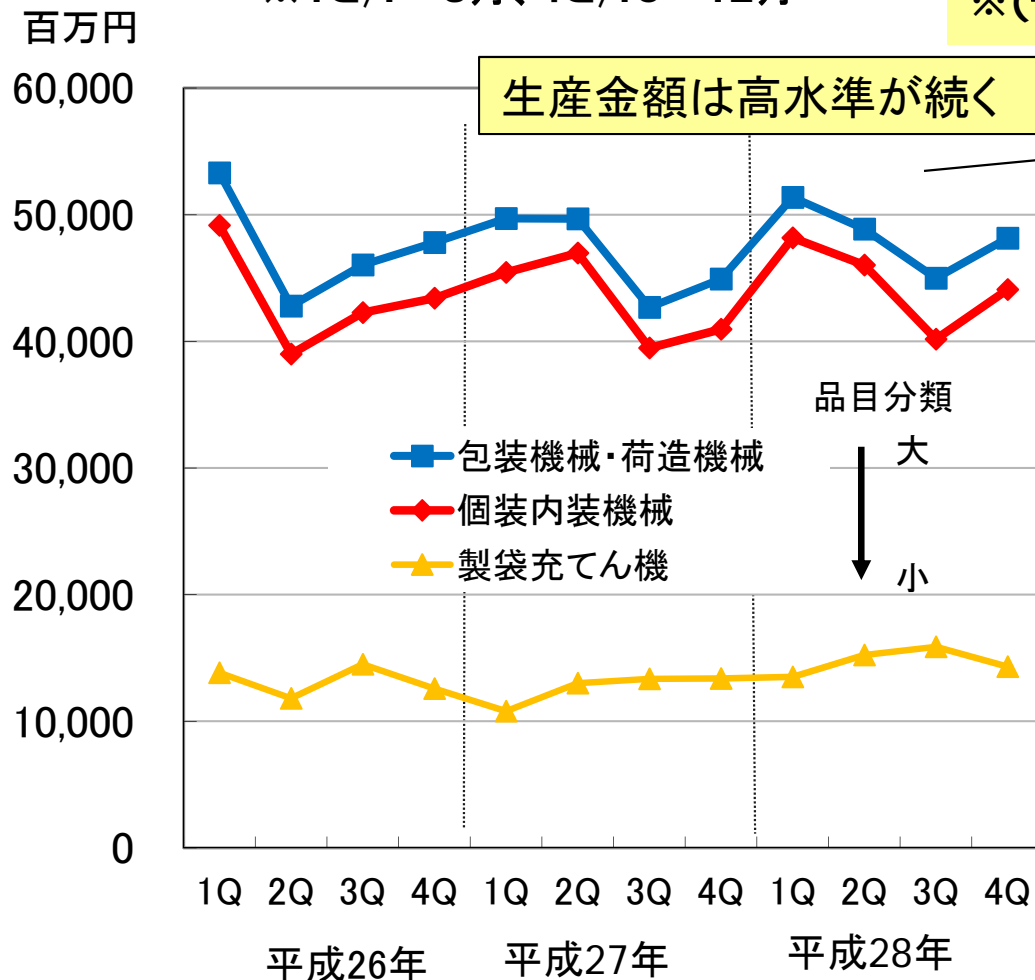
オサ機械

2016/9月子会社化

事業環境 - 包装機械

経産省 生産動態統計より、当社作成
「包装機械及び荷造機械の生産金額推移」
(平成26年1Q～平成28年4Q)

※1Q;1～3月、4Q;10～12月



平成28年計	生産金額
全体	前年比3.4%増
個装・内装機械	前年比3.2%増
製袋充てん機	前年比16.6%増

当社の主要対象市場

健康食品、スーパー・コンビニ向け商品の包装等が好調

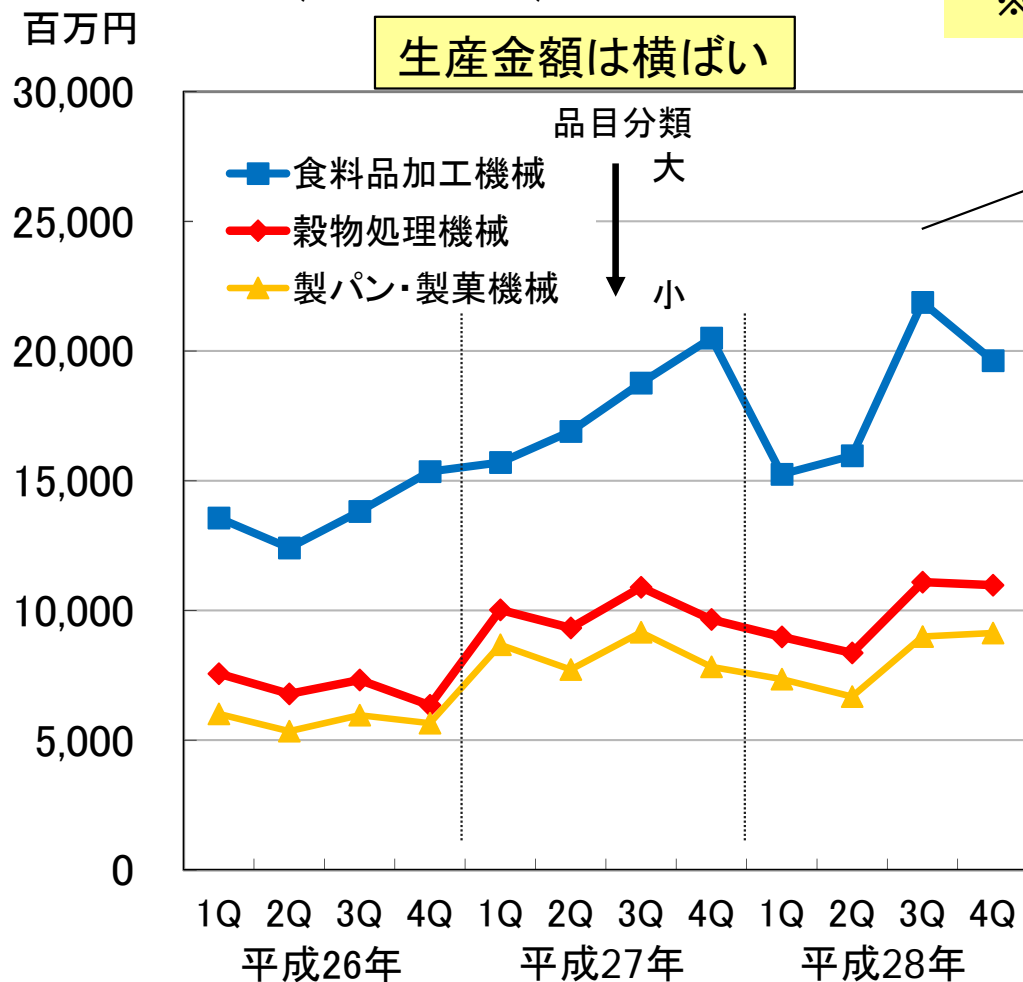
＜当社の動向＞

- 国内市場では、食品業界向けが堅調に推移したことに加え、化学関連業界向けの増加により、上期機械売上高は、前年同期に対して増収となる。
- 海外市場では、アジア地区向け(主に食品業界)及びペットフード向けの増加により、上期機械売上高は前年同期に対して大幅な増収となる。
- 大型案件の受注実績が増加し、上期機械受注高は、前年同期を上回る。

事業環境 - 食品機械

経産省 生産動態統計より、当社作成
「食料品加工機械の生産金額推移」
(平成26年1Q～平成28年4Q)

※1Q;1～3月、4Q;10～12月



<食品機械業界>

- 国内の食品機械需要は弱含み
- 輸出は、アジア地区向けが減少基調で推移
- 業界全体の平成28年(H28.1～H28.12)の販売額は、前年を若干上回る見通し

※(一社)日本食品機械工業会 販売額統計

平成28年計	生産金額
全体	前年比1.2%増
穀物処理機械	前年比1.2%減
製パン・製菓機械	前年比3.7%減

当社子会社の主要対象市場

<当社子会社の動向>

チョコレート製造機械の専門メーカー

- 大型プラントの販売実績が増加し、上期機械売上高は、前年同期を上回る。
- 受注は、高額案件の需要が少なく、上期機械受注高は低迷。

II. 2017年7月期 第2四半期決算概況

連結決算の会計期間

2017年7月期第1四半期より、連結決算へ移行

2017年7月期

	決算日	2016年						2017年						
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
連結	7月31日		第1四半期			第2四半期		第3四半期			第4四半期			
当社(単体)	7月31日		第1四半期			第2四半期		第3四半期			第4四半期			
中国子会社	12月31日	第1四半期			第2四半期		第3四半期			第4四半期				
オサ機械	3月31日			第1四半期		第2四半期		第3四半期			第4四半期			

2017年7月期第2四半期累計実績

【包装機械】当社・中国子会社：6ヶ月間

【生産機械】オサ機械：5ヶ月間

※連結子会社は決算日が異なるため、上記表の各四半期決算日で実施した仮決算に基づく四半期財務諸表を使用しております。連結上必要な調整を行っています。

2017年7月期 第2四半期決算のポイント

※2017年7月期第1四半期より連結決算に移行したため、前年同期は単体決算の数値で参考比較しています。

売上高 (参考)
1,616百万円の増収

営業利益増減要因(前年同期比) 47百万円(参考)の増益

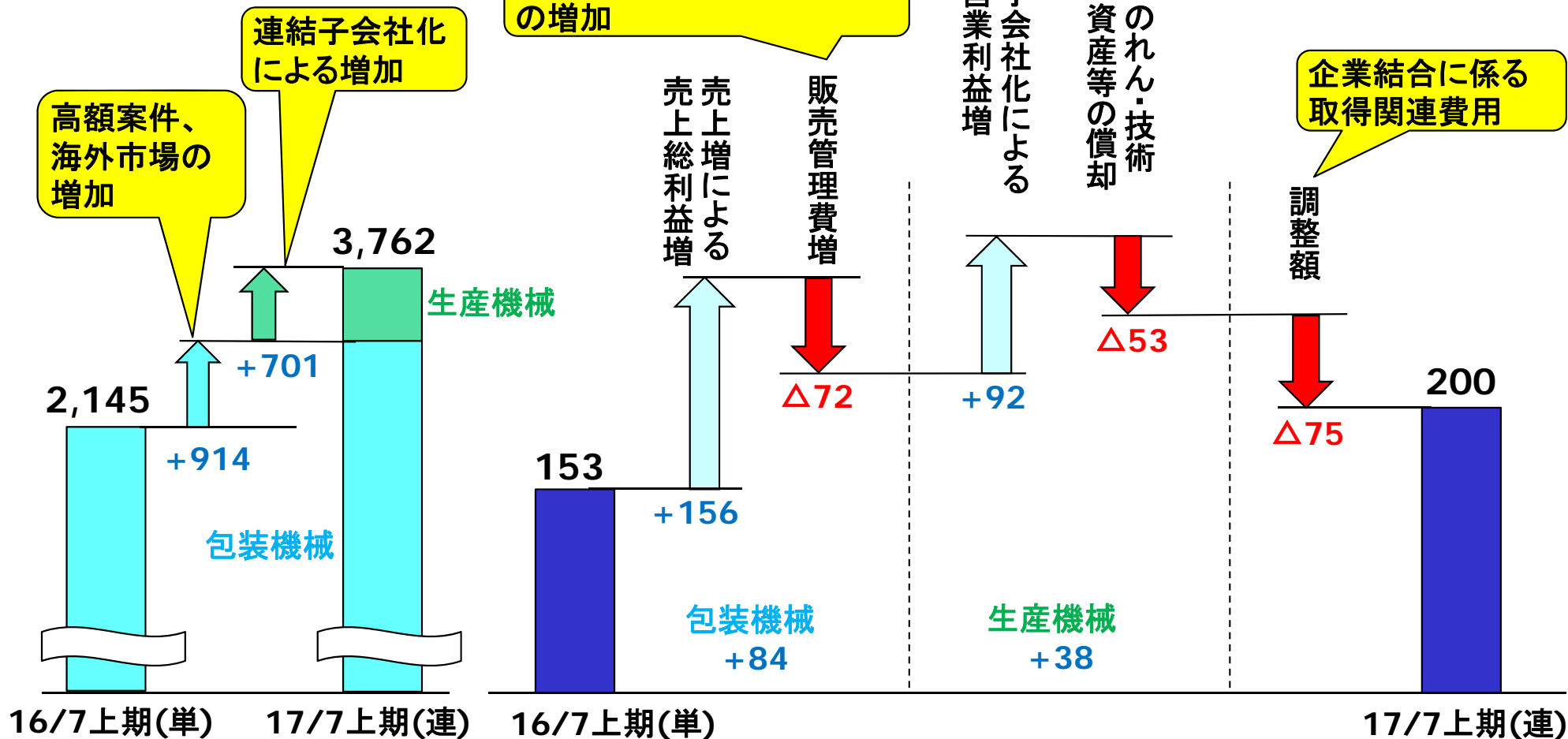
(単位:百万円)

開発関連費、販売手数料等の増加

の子会社化による
営業利益増

のれん・技術
資産等の償却

企業結合に係る
取得関連費用



業績予想比; 72百万円増収、8百万円増益

2017年7月期第2四半期累計 決算概要

(単位:百万円、%)

	2016年7月期 2Q累計(単体)		2017年7月期 2Q累計(連結)		(参考) 前年同期比		2017年7月期 2Q累計計画(連結)		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率	金額	計画比	率
売上高	2,145	100.0	3,762	100.0	+1,616	+75.3	3,690	+72	+2.0
売上総利益	619	28.9	920	24.5	+300	+48.5	917	+3	+0.4
営業利益	153	7.2	200	5.3	+47	+30.6	192	+8	+4.2
経常利益	153	7.1	203	5.4	+49	+32.5	194	+9	+4.8
四半期純利益	102	4.8	118	3.2	+16	+15.7	95	+23	+24.9

※2017年7月期第1四半期より連結決算に移行したため、前年同期は単体決算の数値で参考比較しています。

前年同期比:増収・増益

- 売上総利益は、増収により、前年同期比300百万円増加。
売上総利益率は、包装システムの増加と大型プラントの影響で、前年同期から低下。
- 営業利益率は、企業結合に係る取得関連費用(75百万円)の影響で低下。
- 経常利益は、計画を上回り、前年同期比49百万円増益。
- 四半期純利益は、計画を上回り、前年同期比16百万円増益。

セグメント別業績概要

(単位:百万円、%)

	2016年7月期 2Q累計(単体)		2017年7月期 2Q累計(連結)		(参考) 前年同期比		2017年7月期 2Q累計計画(連結)		
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率	金額	計画比	率
売上高	2,145		3,762		+1,616	+75.3	3,690	+72	+2.0
包装機械	2,145		3,060		+914	+42.6	3,000	+60	+2.0
生産機械			701		+701	-	690	+11	+1.7
営業利益	153	7.2	200	5.3	+47	+30.6	192	+8	+4.2
包装機械	153	7.2	237	7.8	+84	+54.7	-		
生産機械			38	5.5	+38	-	-		
調整額			△75	-	△75	-	-		

※2017年7月期第1四半期より連結決算に移行したため、前年同期は単体決算の数値で参考比較しています。

生産機械;9月-1月 5ヶ月累計。

2Q累計計画の営業利益については、生産機械の評価が暫定的な算定でスタートしているため、セグメント別は記載していません。

【包装機械】 大幅な増収・増益、利益率も向上。計画に対して増収

【生産機械】 無形固定資産(のれん・技術資産等)の償却にて、利益率5.5%。計画に対して増収

【調整額】 企業結合に係る取得関連費用

セグメント別売上内訳

(単位:百万円、%)

	2016年7月期 2Q累計(単体)	2017年7月期 2Q累計(連結)	前年同期比増減(参考)		2017年7月期 2Q累計計画(連結)
			金額	率	
包装機械	2,145	3,060	+914	+42.6	3,000
給袋自動包装機	1,373	1,605	+232	+16.9	1,844
製袋自動包装機	100	234	+134	+133.5	220
包装関連機器等	108	537	+428	+394.7	350
保守消耗部品その他	563	683	+119	+21.3	585
生産機械	-	701	+701	-	690
製菓機械		655	+655	-	-
保守消耗部品その他		46	+46	-	-
合計	2,145	3,762	1,616	+75.3	3,690

※2017年7月期第1四半期より連結決算に移行したため、前年同期は単体決算の数値で参考比較しています。

生産機械;9月-1月 5ヶ月累計。

前年同期比 : +1,616百万円、+75.3%

【包装機械】 全ての品目で増収

◇高価格機種及び高額システムの実績が増加

【生産機械】

◇大型プラントの実績

▶ 計画比 +60百万円・・・給袋自動包装機が減少、包装関連機器等と保守消耗部品が増加

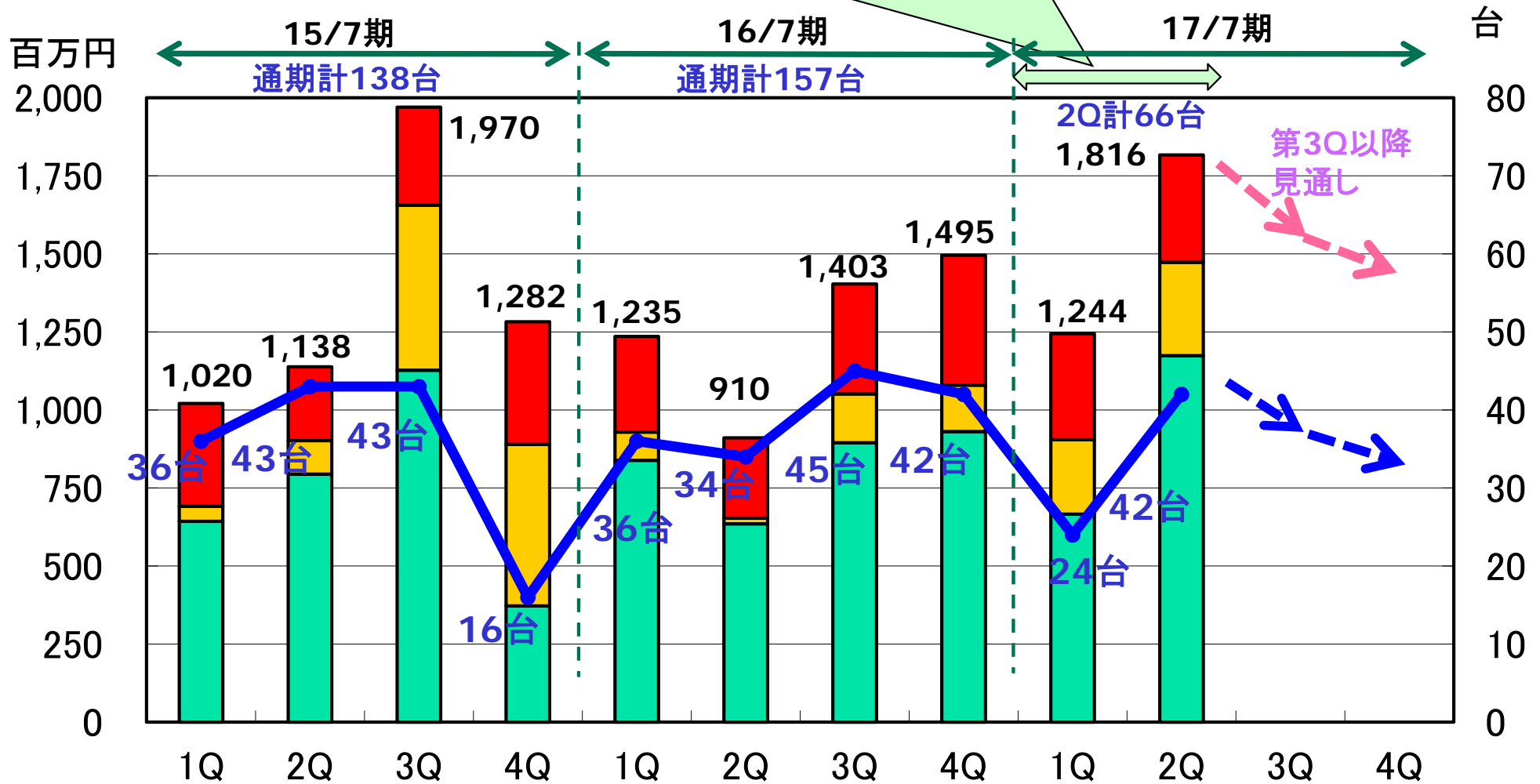
【包装機械】 四半期売上高

第2四半期累計実績

自社機販売台数 前年同期比△4台

自社機売上高 前年同期比+366百万円

※(給袋自動包装機<ガス充填自動包装機含む>、製袋自動包装機の合計)



大型案件の有無、高額機種の販売台数により、
四半期売上高は大きく変動

■ 自社機合計
■ 保守消耗部品

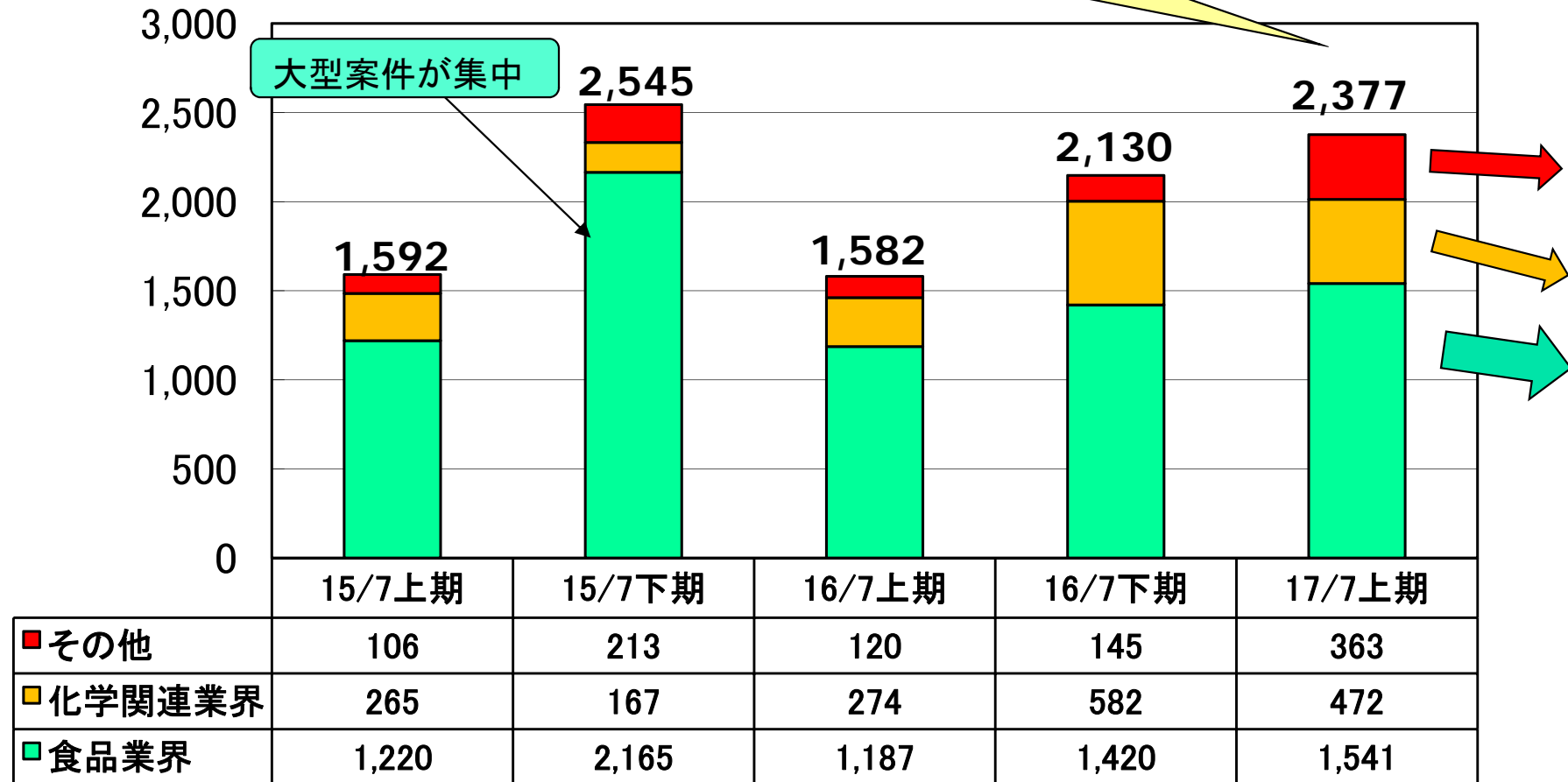
■ 包装関連機器等
● 自社機販売台数(右軸)

(注) 16/7期までは単体、17/7期は連結決算

【包装機械】エンドユーザー業種別機械売上高

各業界向けとも増加したことから、機械売上高は前年同期比50.2%増

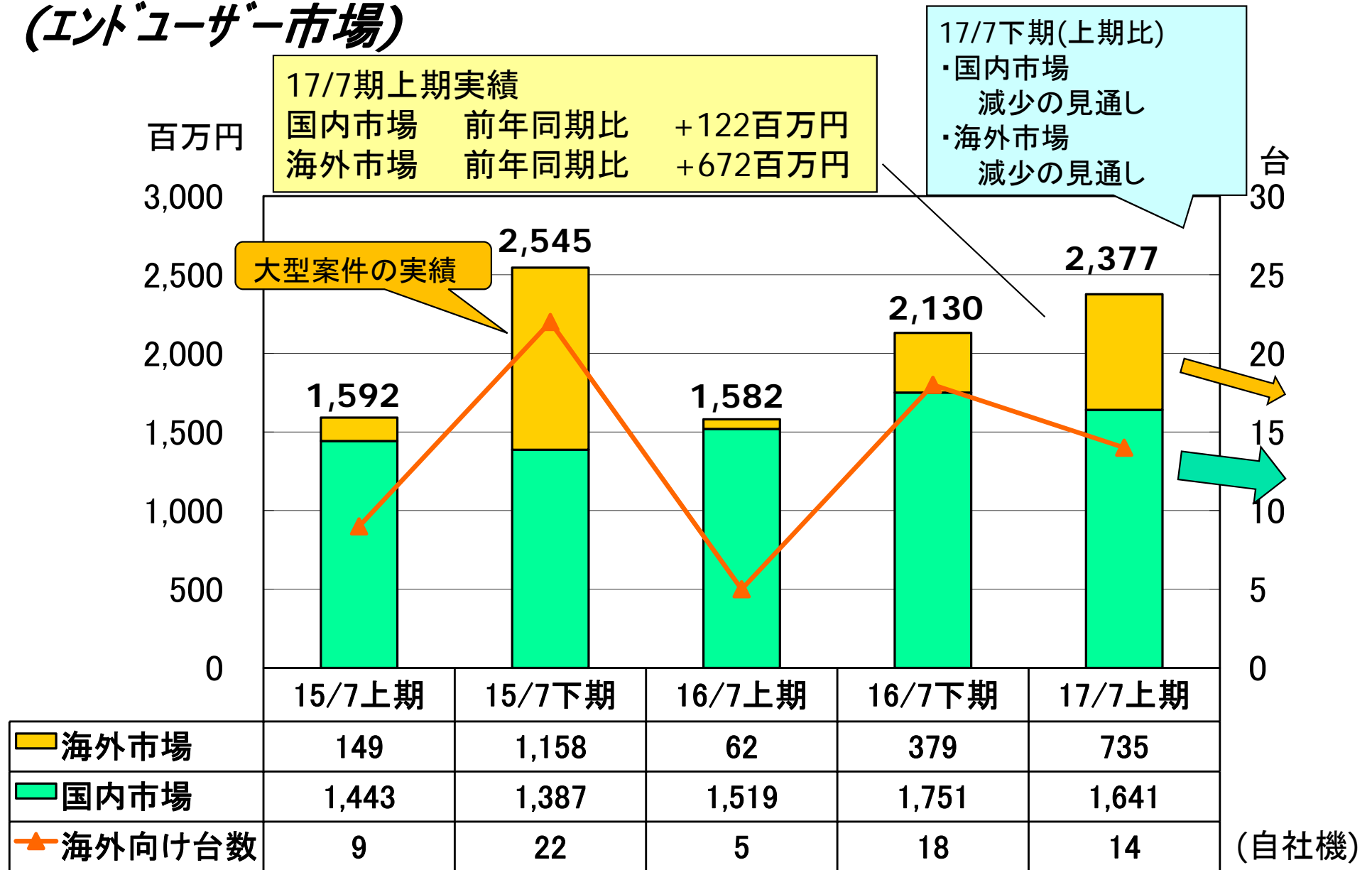
百万円	<化学関連業界> 医療分野、健康食品等	17/7期上期実績		17/7下期見通し(上期比) 各業界とも減少 全体で上期より大幅に減少
	<その他> ペットフード、種苗等	食品業界	前年同期比 29.8%増	
		化学関連業界	前年同期比 72.3%増	
		その他	前年同期比202.0%増	



(注)16/7期までは単体、17/7期は連結決算

【包装機械】国内/海外市場別機械売上高

(エンユーザー市場)



(注)16/7期までは単体、17/7期は連結決算

【包装機械】海外市場向けの売上高(部品含む)

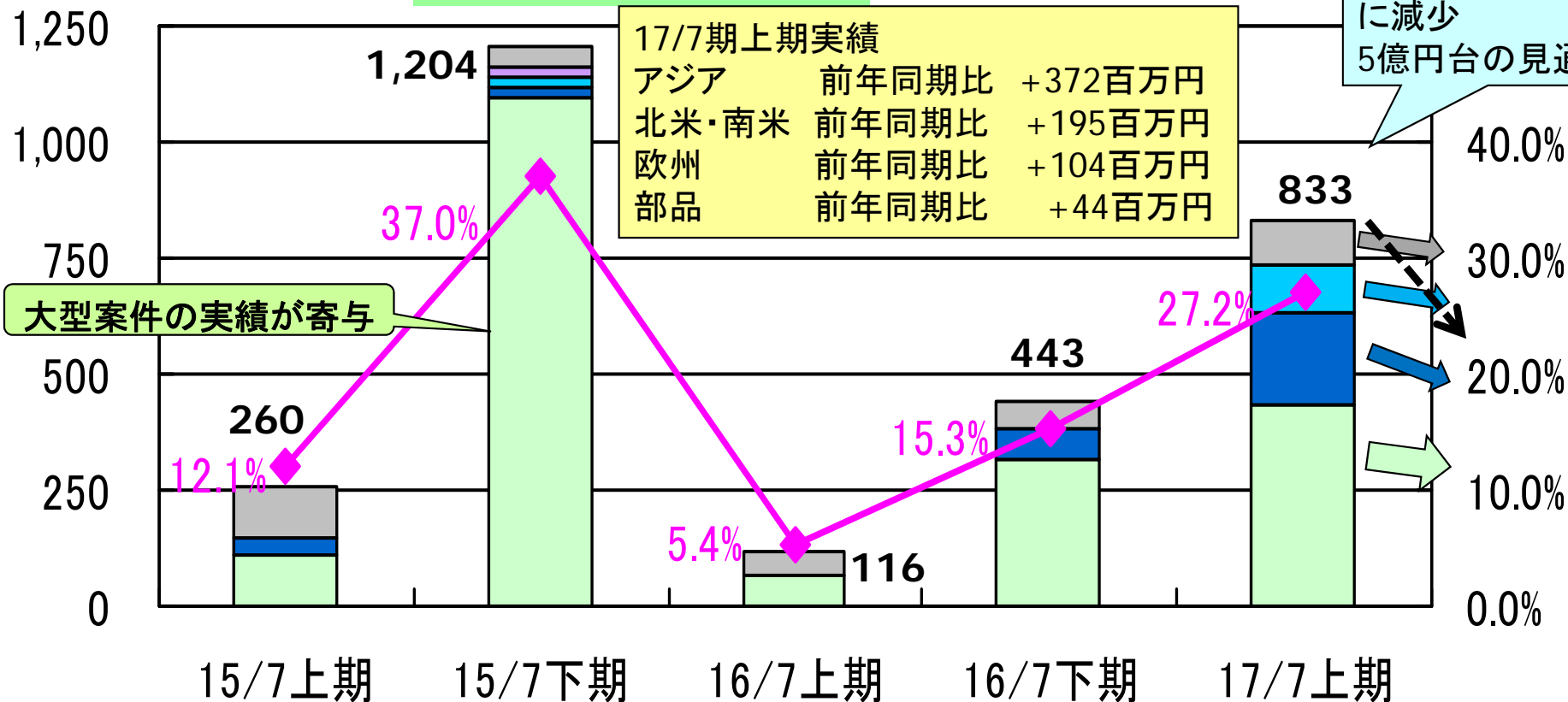
(エンドユーザー地域別)

＜アジア市場＞
中国・東南アジアが中心
・日系企業、現地企業

＜北米・南米、欧州市場＞
ドライパットフード向けが中心

17/7下期(上期比)
各地域とも減少
全体で上期より大幅
に減少
5億円台の見通し

百万円



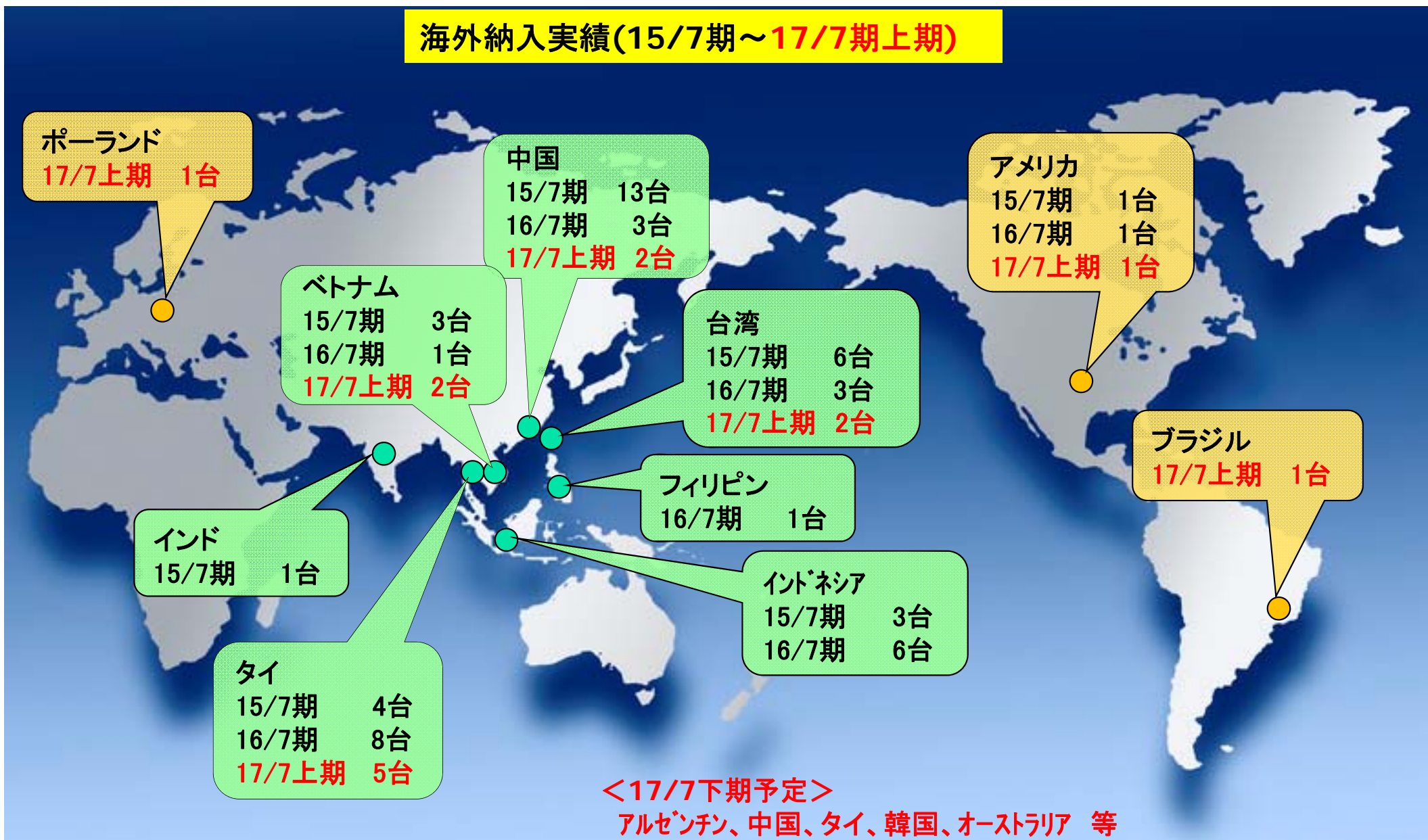
※機械売上高;エンドユーザー地域別

(注)16/7期までは単体、17/7期は連結決算

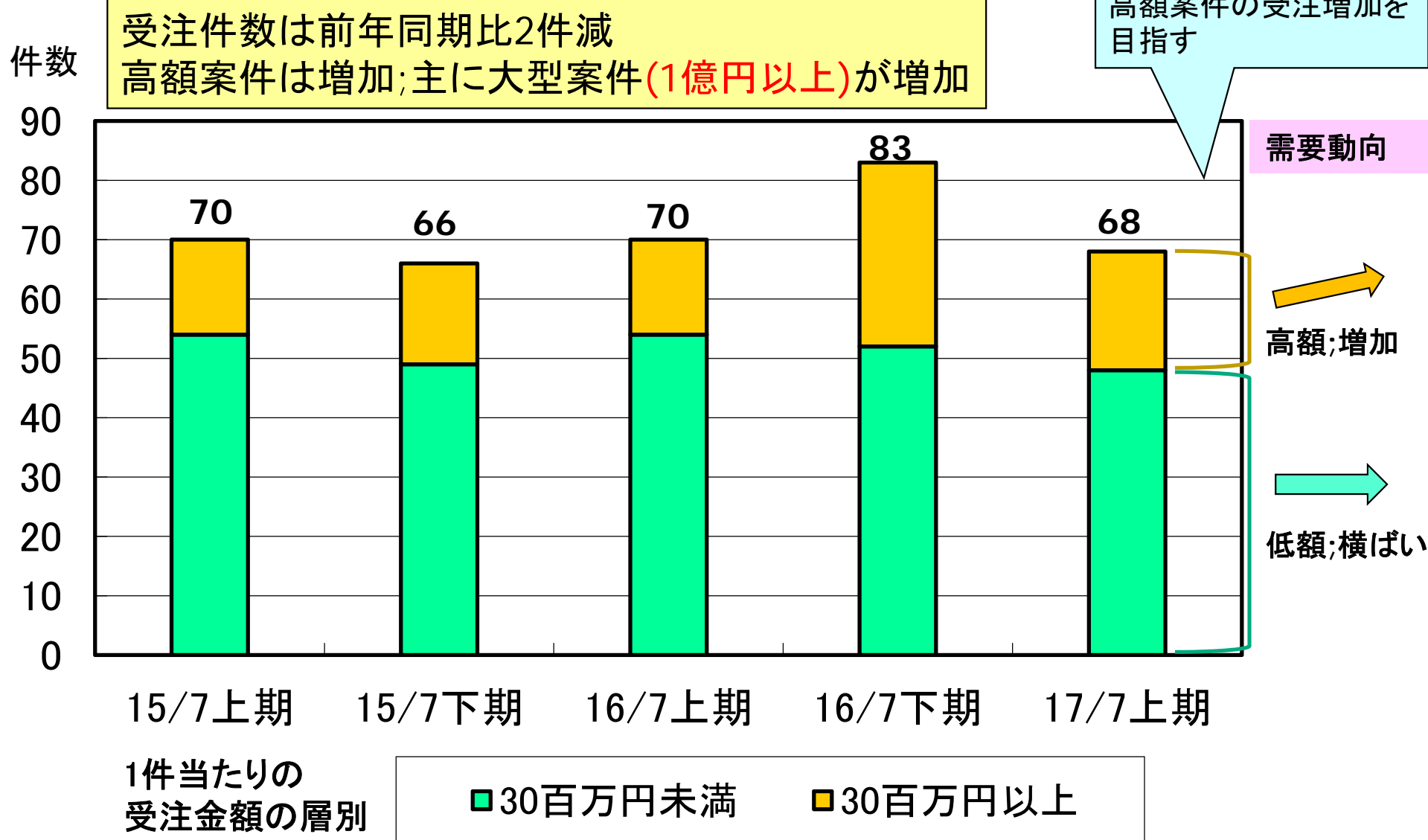
【包装機械】海外市場向け 国別実績

※自社機台数

海外納入実績(15/7期～17/7期上期)

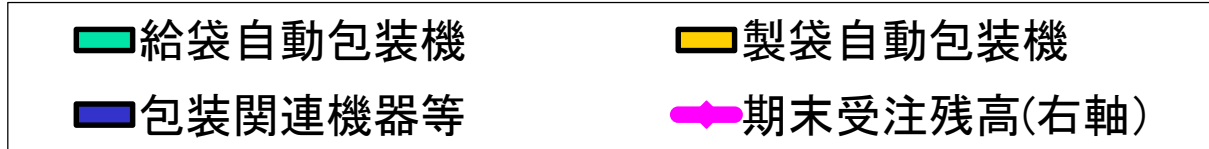
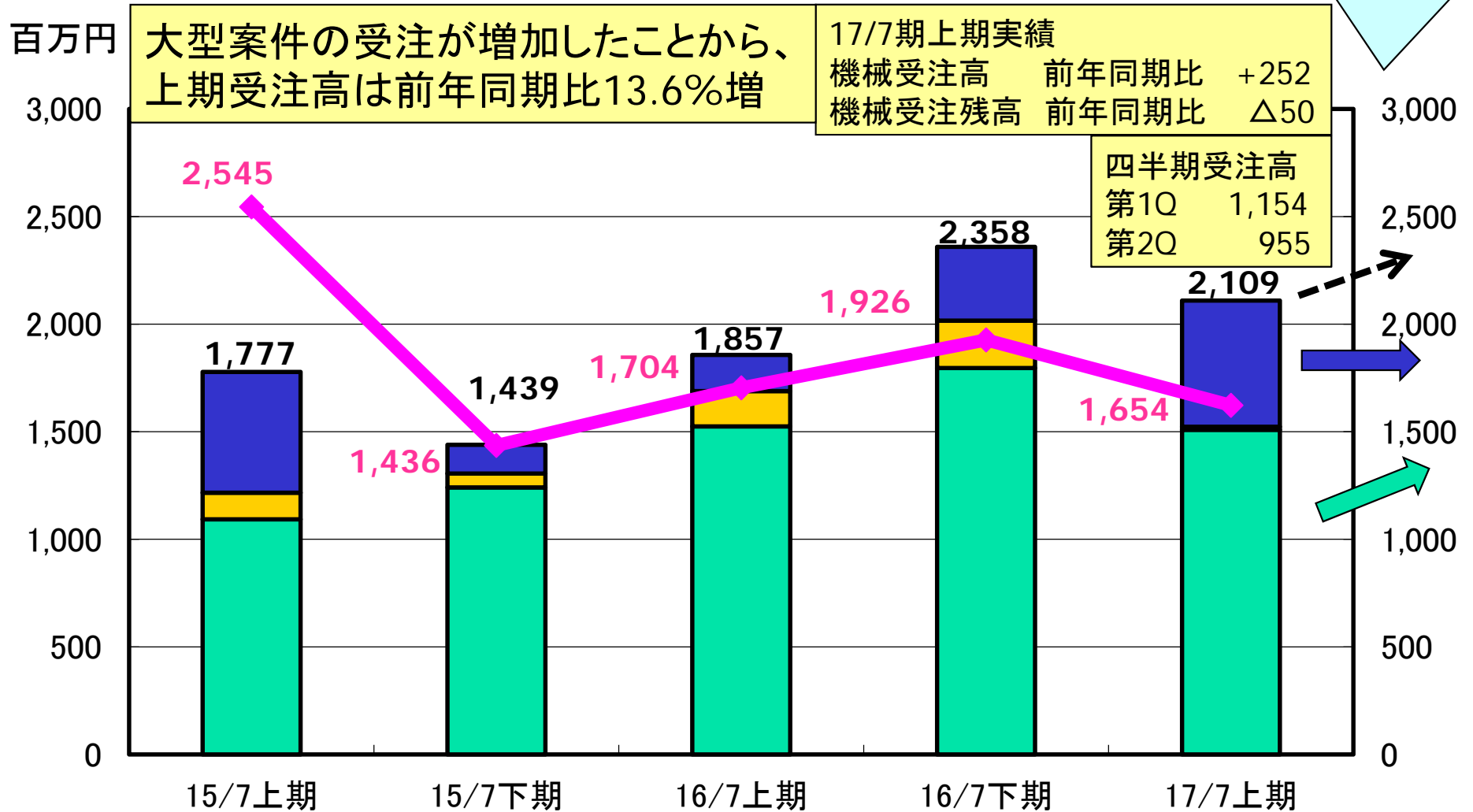


【包装機械】機械の受注件数



【包装機械】機械の受注動向

＜17/7下期計画＞
大型案件確保と給袋自動包装機の増加で、上期より増加を目指す



(注) 16/7期までは単体、17/7期は連結決算

【生産機械】 売上・受注の動向

■売上高

16/9月-17/1月 701百万円

◇機械売上高 655百万円

- ・機械売上件数 19件
- ・高額案件;多

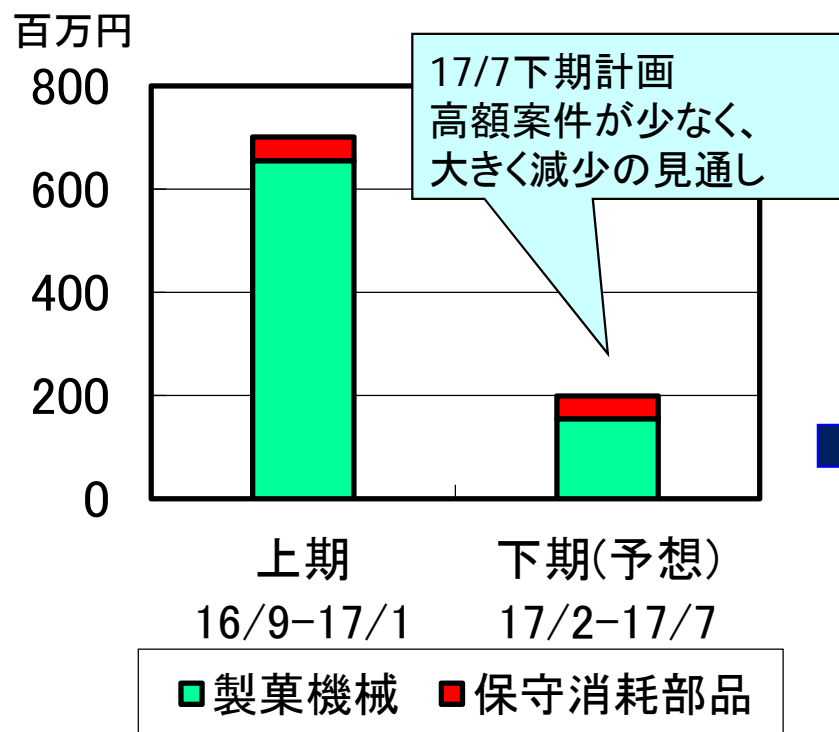
■受注

16/9月-17/1月

◇機械受注高 167百万円

- ・機械受注件数 13件
(内 海外市場 1件)
- ・高額案件;少

◇機械受注残高 187百万円



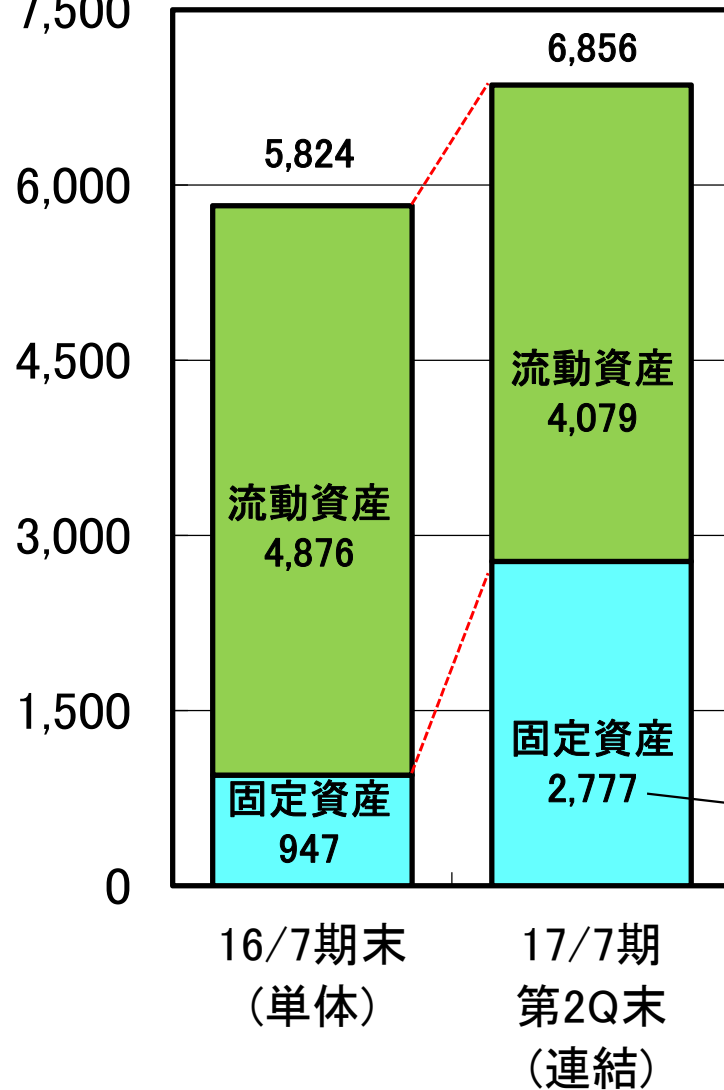
大型プラントの有無、高額案件の件数により、半期売上高は大きく変動

(参考ベース) ※比較を行うために計算
連結子会社化前の同期間との売上高比較
前年上期(15/9-16/1)比 増収
前年下期(16/2-16/7)比 減収の見込み
前年同期(15/9-16/7)比 増収の見込み

B/S 概況

百万円

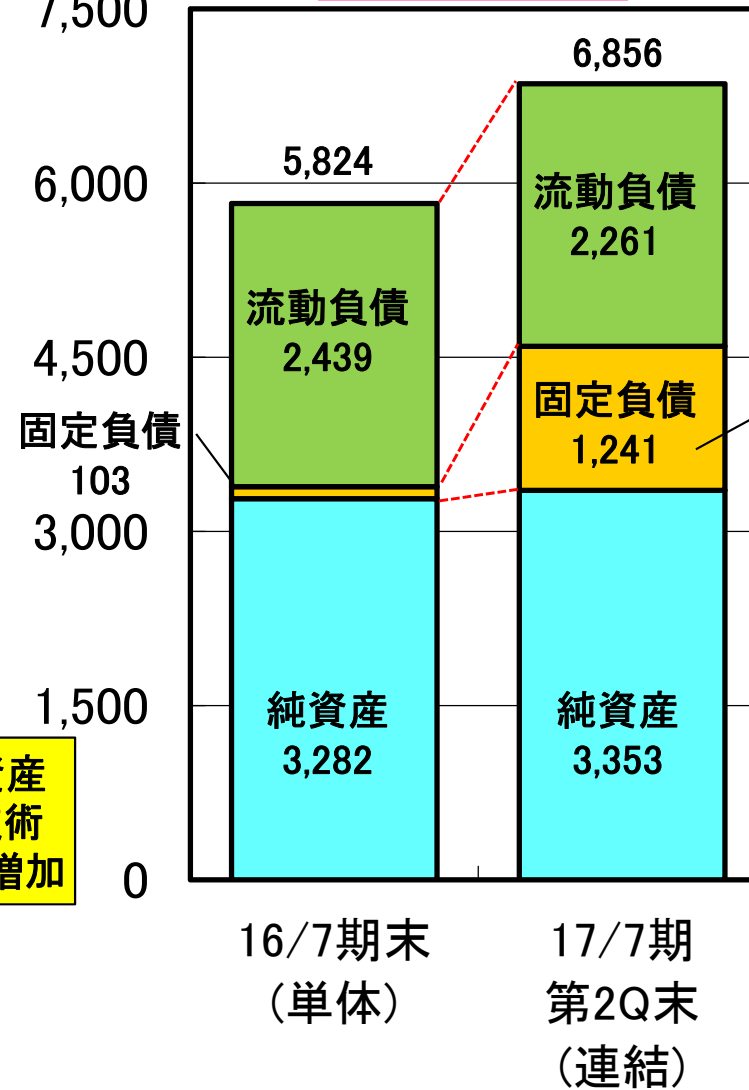
資産



無形固定資産
(のれん・技術
資産等)の増加

百万円

負債純資産



長期借入金
の発生

自己資本比率; 56.4% 48.9%

Ⅲ. 2017年7月期 通期業績見通し

2017年7月期業績予想(連結)

(単位:百万円、%)

	2016年7月期(単体)		2017年7月期(連結)		前期比(参考)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	5,044	100.0	6,400	100.0	+1,355	+26.9
売上総利益	1,455	28.8	1,711	26.7	+256	+17.6
営業利益	331	6.6	296	4.6	△35	△10.7
経常利益	332	6.6	300	4.7	△32	△9.8
当期純利益	232	4.6	160	2.5	△72	△31.0

※2017年7月期第1四半期より連結決算に移行したため、前期は単体決算の数値で参考比較しています。

増収・減益

- 包装機械の増収と連結子会社化により、売上高は前期比26.9%増の64億円を見込む
- 売上総利益率は、連結決算化の影響もあり、前期比2.1ポイント低下し26.7%
- 営業利益率は、企業結合に係る取得関連費用(75百万円)の影響もあり、前期比2ポイント低下し4.6%
- 経常利益は、前期比32百万円減の300百万円を計画
- 当期純利益は、法人税等合計の増加により、前期比72百万円減

2017年7月期セグメント別業績予想

(単位:百万円、%)

	2016年7月期(単体)		2017年7月期(連結)		前期比(参考)	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率
売上高	5,044		6,400		+1,355	+26.9
包装機械	5,044		5,500		+455	+9.0
生産機械			900		+900	-
営業利益	331	6.6	296	4.6	△35	△10.7
包装機械	331	6.6	352	6.4	+20	+6.1
生産機械			19	2.1	+19	-
調整額			△75	-	△75	

※2017年7月期第1四半期より連結決算に移行したため、前期は単体決算の数値で参考比較しています。
 生産機械;9月-7月 11ヶ月累計

- 【包装機械】 増収・増益、通期利益率は前期より僅かに低下
- 【生産機械】 下期は赤字見込みにより、通期利益率2.1%
- 【調整額】 企業結合に係る取得関連費用

2017年7月期セグメント別売上内訳予想 (単位:百万円、%)

	2016年7月期(単体)		2017年7月期(連結)		前期比(参考)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
包装機械	5,044	100.0	5,500	85.9	+455	+9.0
給袋自動包装機	2,982	59.1	3,104	48.5	+122	+4.1
製袋自動包装機	317	6.3	234	3.6	△83	△26.3
包装関連機器等	413	8.2	862	13.5	+448	+108.5
保守消耗部品その他	1,331	26.4	1,300	20.3	△31	△2.4
生産機械	-	-	900	14.1	+900	-
製菓機械			810	12.7	+810	-
保守消耗部品その他			90	1.4	+90	-
合計	5,044	100.0	6,400	100.0	+1,355	+26.9

※2017年7月期第1四半期より連結決算に移行したため、前期は単体決算の数値で参考比較しています。

生産機械:9月-7月 11ヶ月累計

前年同期比 : +1,355百万円、+26.9%

【包装機械】 包装関連機器等の増加により、増収

◇高額システムの実績が増加

【生産機械】 下期の製菓機械が低迷、通期売上高は900百万円を見込む

株主還元

中期配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、配当性向50%または純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

	2014/7期 (非連結)	2015/7期 (非連結)	2016/7期 (非連結)	2017/7期予想 (連結)
中間配当 ※	17.50円	20.00円	17.50円	20.00円
期末配当 ※	17.50円	25.00円	27.00円	20.00円
年間配当 ※	35.00円	45.00円	44.50円	40.00円
当期純利益／株 ※	90.17円	126.28円	130.63円	90.02円
配当性向	38.8%	35.6%	34.1%	44.4%
DOE	2.1%	2.6%	2.5%	2.1%

※2016年2月1日付で、5株につき1株の株式併合を実施
配当、当期純利益/株は、株式併合を考慮した数値に遡及修正しています。

IV. 中期経営計画ならびに 経営戦略の主な取組み状況

第4次中期経営計画(2015年7月期～2017年7月期)

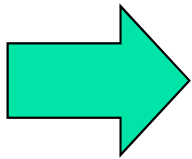
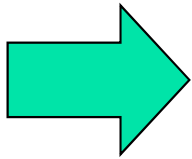
◆中期経営ビジョン

海外市場での成長基盤構築の時期

1. 世界に飛躍するGPブランド
2. One stopで応えるソリューションカンパニー
3. 挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

◆中期数値目標

第3次中計実績

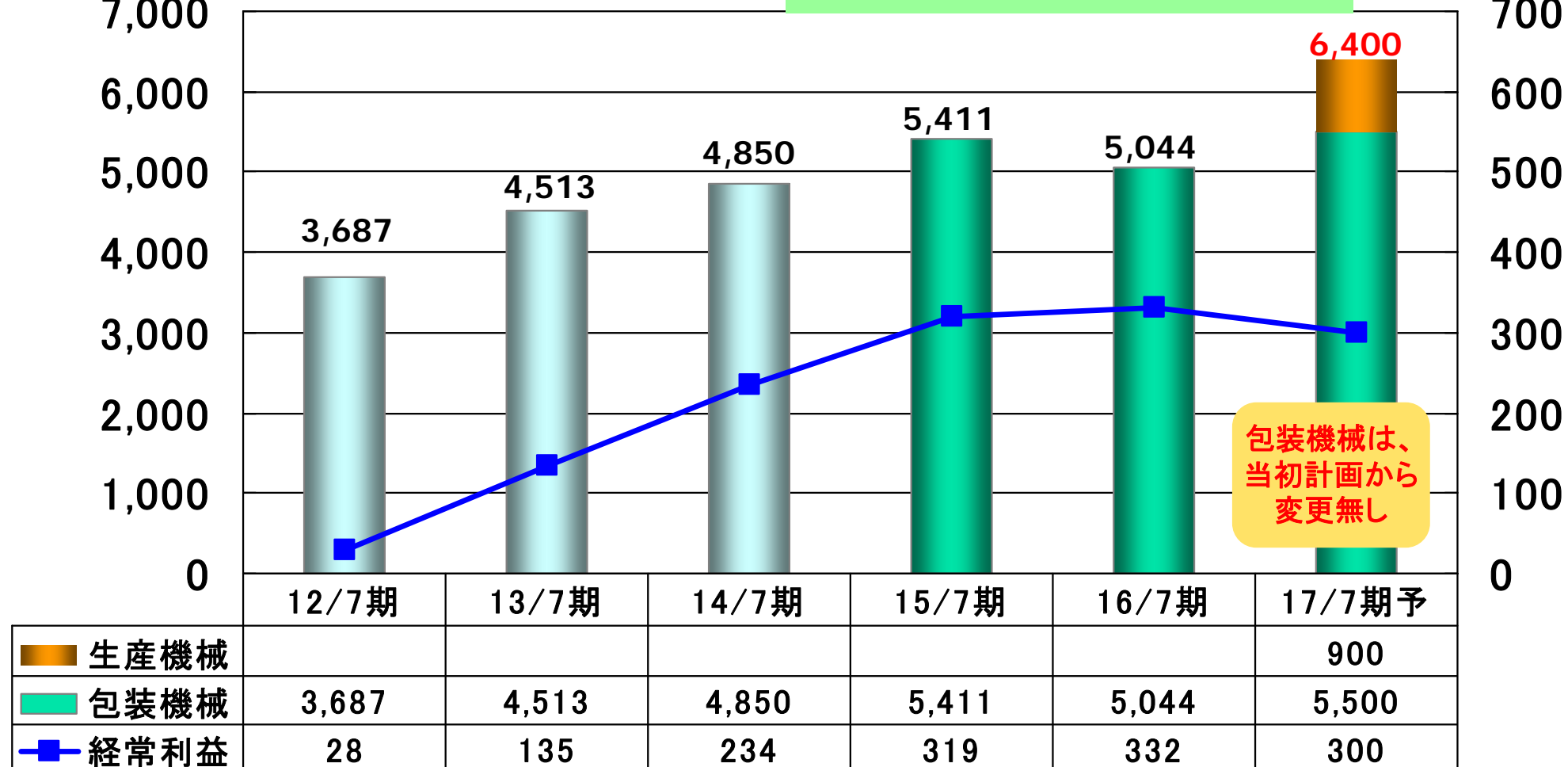
	14/7期実績		17/7期目標
売上高経常利益率	4.8%		5.5%以上
ROA(総資産経常利益率)	4.7%		5.5%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	5.5%		6.0%以上
	14/7期実績		17/7期目標
売上高	4,850百万円		5,500百万円
営業利益	229百万円		295百万円
経常利益	234百万円		300百万円
当期純利益	160百万円		200百万円

業績推移

売上高 (百万円)

収益の安定化と拡大に注力

経常利益



包装機械は、当初計画から変更無し

← 第4次計画 →

※2012年7月期から2016年7月期までは単体、2017年7月期は連結決算となっております。

【包装機械】事業計画モデル(第4次中計)

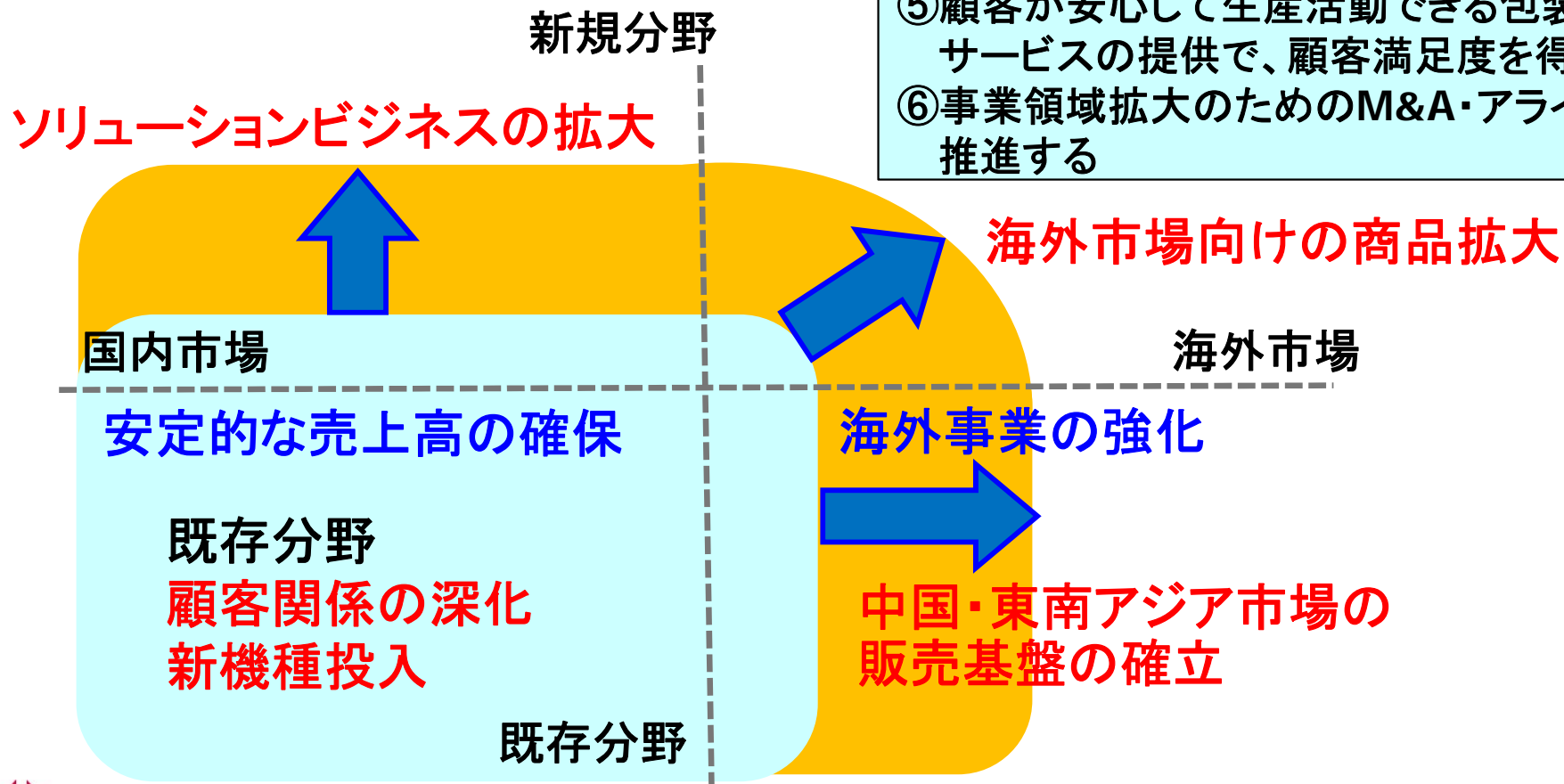
売上高(単位:百万円)	14/7期実績	15/7期実績	16/7期実績	17/7期予想
国内市場 (機械)	3,440 <i>大型案件が集中</i>	2,830	3,270	3,100 <i>アジア向け増加 ペットフード向け新機種効果</i>
海外市場 (機械)	440	1,307 <i>大型案件の実績 販売台数の増加</i>	442 <i>高額案件の減少 一部翌期へ繰越</i>	1,100
保守消耗部品	970	1,272 <i>高額保守の増加</i>	1,331	1,300
合計	4,850	5,411	5,044	5,500

17/7期予想
国内市場 減少、海外市場 大幅な増加

基本戦略

「持続的成長に向けて グローバル企業を目指す」

- ①顧客関係の深化と新機種投入により、国内市場で安定的な売上高を維持する
- ②海外事業を強化し、海外市場向けの売上高の大幅な伸長を目指す
- ③顧客の期待にワンストップで応え、ソリューションビジネスの拡大を図る
- ④競争力強化と海外市場開拓のための商品開発を推進する
- ⑤顧客が安心して生産活動できる包装システムとサービスの提供で、顧客満足度を得る
- ⑥事業領域拡大のためのM&A・アライアンスを推進する



【包装機械】販売戦略

国内市場;顧客関係の深化と新機種投入

- 新機種「高機能給袋自動包装機GP-M3000型」の販売開始(16/8月)
 - ・17/7期上期 受注実績 8台 ▶ 下期;拡販活動を強化

海外事業の強化

- 中国子会社;蘇州日技通用包装机械有限公司(中国・常熟市) (16/3月設立)
 - ・生産、アフターサービス体制の確立 ▶ 中国市場の開拓強化
 - ・営業体制の確立
- 販売基盤の確立
 - ・新規販売チャネルの開拓 --- 17/7期上期;1社(アメリカ)代理店契約締結
(16/7期 計4社 タイ;1社、台湾;1社、インドネシア;2社)
- ペットフード用包装機の拡大(主に欧米市場)
 - ・大手メーカーグループへの新機種拡販 ⇒17/7期上期 売上3台、受注残2台
- 新規顧客開拓の受注実績

15/7期	16/7期	17/7期上期
6社 アメリカ、インド、インドネシア、 中国、タイ、ベトナム	10社(内1社 4カ国一括) 台湾、中国、タイ、 ベトナム、フィリピン	5社 タイ、ベトナム、中国、 オーストラリア

17/7期予定
海外展示会への出展
を強化
シカゴ(16/11月)
ドイツ(17/5月)
中国(17/7月)

【包装機械】販売戦略

ソリューションビジネスの拡大

■システムソリューション部

- ・営業本部との連携強化
国内既存顧客へのソリューション提案
中国・台湾市場の新規顧客開拓



- ・新たなマーケット開拓
・【生産機械】との連携

■高額システム(30百万円以上)の受注実績

	15/7期	16/7期	17/7期上期
受注件数	3件	4件	8件
業種	食品(2件)、医療	食品(2件)、 健康食品(2件)	食品(7件)、 化学(1件)



■ロボット応用システムの納入

上記高額システムの一部は、資本業務提携先 ワイ・イー・データのシステムを納入
納入実績(売上期) 15/7期 3件(計6ライン) 16/7期 1件

【包装機械】開発・技術戦略

■ 開発テーマ <第4次中計>

- ①メカトロモーション技術、コア技術の開発
- ②次世代包装機の開発
- ③特定ユーザー・業種のニーズに対応した新機種の開発 等

■ 新機種開発

高機能給袋自動包装機 GP-M3000型 (16/7期開発)

2016/8月販売開始

17/7期 オプション、ラインナップの開発



ペットフード用大袋給袋自動包装機 (16/7期開発) (充填量 最大 20Kg)

17/7期 大手メーカー各国工場へ納入・検収 4台
(ポーランド、アメリカ、アルゼンチン、ブラジル)
新バージョンの開発

17/7期 既存機種の新バージョン開発
超高速製袋自動包装機、高精度充填給袋自動包装機 等

【生産機械】

営業活動の強化

■コーポレートブランディング活動

- ・会社案内リニューアル実施(17/7期上期)

当社グループ会社化による企業イメージの向上

「当社との連携により、チョコレート製造から包装・梱包までの一貫したソリューションの提案が可能なことを訴求」

■販売促進活動



下期;製品総合カタログの新設を計画
展示会へ出展;(2017/2月)
モバックショウ(国際製パン製菓関連産業展)

■営業体制と案件管理の強化

内部管理体制の強化

■連結子会社としての内部統制の構築

■人材育成 等

V. 參考資料

包装機械業界

単位:億円

機種別	生産高
個装・内装機械	3,450
包装用計量機	235
充てん機	361
びん詰機械	586
製袋充てん機	642
真空包装機	107
その他	1,519
外装・荷造機械	634
ケース詰機	162
その他	472
合計	4,084

主な上場企業
 専業メーカー:東京自動機械製作所
 兼業メーカー:CKD、渋谷工業 等

需要先別構成比
 ・食品部門 50.6%
 ・化学部門 18.3%
 ・その他 19.1%
 ・輸出 12.0%

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

(一社)日本包装機械工業会
 「包装機械及び荷造機械生産高統計」
 2015年度実績

当社:包装機械の専業メーカー
 ■ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装機械・システムに特化
 ◇高品質・高難易度の包装分野
 ◇チャック付袋包装、ガス充填包装等

主な競合先(ロータリー式包装機メーカー)
 ・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力
 ※ナブテスコ連結子会社
 ・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

食品機械業界

単位:億円

機種別	販売額
精米麦機械	144
製粉機器	125
製めん機械	108
製パン・製菓機械	1,267
醸造用機械	145
乳製品加工機	573
飲料加工機械	230
肉類加工機械	217
水産加工機械	159
その他食品機械	2,205
合計	5,175

主な上場企業
 兼業メーカー:レオン自動機、
 鈴茂器工 等

・輸出 8.3%

製菓機械

オサ機械(子会社)
 の区分

(一社)日本食品機械工業会
 「食品機械統計」
 2015年実績

オサ機械:チョコレート製造機械の専門メーカー
 ■創業以来80年以上、蓄積された豊富な経験
 ◇チョコレート製造全般
 ◇国内で高いシェアを占める

主な競合先
 ・谷沢菓機工業(非上場)
 チョコレート製造機械、餅・和菓子製造機械、
 米菓機械

会社概要(2017年1月31日現在)

- 設立 1966年(創業 1961年)
- 資本金 251百万円
- 発行済株式数 1,798,800株
- 売買単位 100株
- 決算期 7月末
- 事業内容 各種自動包装機及び周辺装置の製造・販売
製菓機械の製造・販売
- 従業員数 単体;134名(その他臨時雇用者21名)
連結;163名(その他臨時雇用者25名)
- 事業所 本社・工場、東京営業部、上海事務所
- 子会社 オサ機械、蘇州日技通用包装機械
- 役員 取締役 6名(内 社外1名)
監査役 3名(内 社外3名)
- 企業ビジョン

証券コード;6267
東証JASDAQ・名証二部

「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現

事業内容

国内市場

海外市場

主要市場：ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の
包装用機械・システム

主要ユーザー

食品業界

化学関連業界

その他

製粉

製麺

精米

製氷

食品全般

健康食品

医療用品

ペットフード

製パン

製菓

削節

製茶

コーヒー

洗剤

種苗

食品業界の各大手上位への
顧客基盤が強い

チョコレート製造機械分野
国内で高いシェアを持つ

高品質・高難易度の包装分野
・チャック付袋包装
・ガス充填包装等

販売経路

直販

窓口

販売

直販が中心

業界上位が中心

販売

特定顧客・業種、中堅・中小等

機器から
プラントまで

生産機械

個別受注生産

包装機械

袋詰用包装機から包装システムまで

チョコレート製造機械

製菓機械等

開発・設計・製造

給袋自動包装機(ガス充填自動包装機含む)

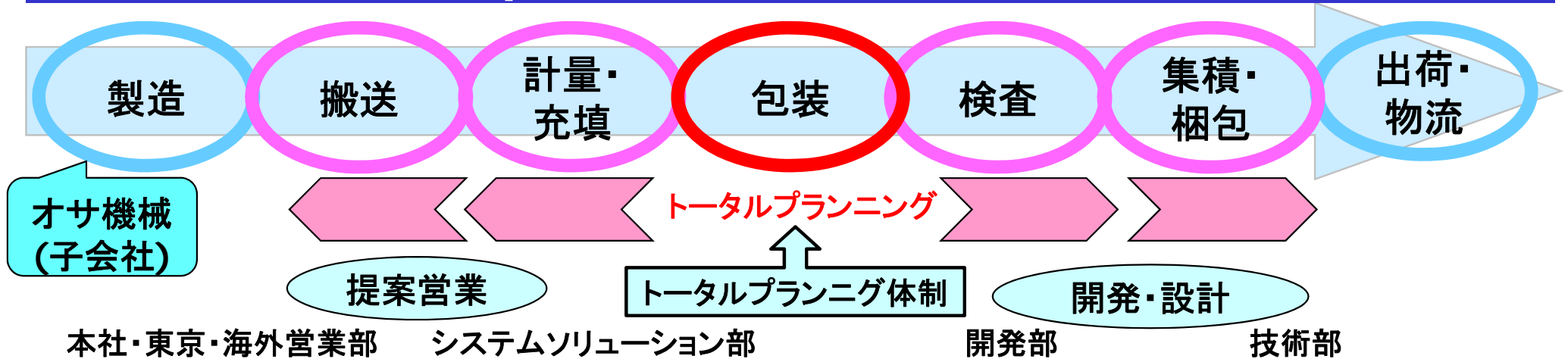
製袋自動包装機

包装関連機器等

仕入

(経営ビジョン)

One stopで応えるソリューションカンパニー



挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

人員推移(単体)

	12/7期末	13/7期末	14/7期末	15/7期末	16/7期末	17/1期末
従業員	123	124	127	131	135	134
(内 開発・技術部人員)	(34)	(38)	(40)	(42)	(42)	(42)
臨時雇用者※	18	19	16	19	18	21
合計	141	143	143	150	153	155

※パート、嘱託、派遣

連結人員合計(臨時雇用者含む)

188

包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室

〒481-8601

愛知県北名古屋市宇福寺神明65

電話：0568-23-3111

FAX：0568-22-3222

E-mail：info@general-packer.co.jp

